

議長（前原英石君） 日程第1 一般質問を行います。

通告順に発言を許します。

4番 明和善一郎君。

4番（明和善一郎君） おはようございます。

通告しています2点について村長のお考えをお伺いいたします。

まず、1点目として、防犯施設の充実についてお考えをお聞きします。

先日、近隣の町の住民の方々と意見交換する機会があり、その方たちは、舟橋村は街灯の設置も多く、夜になっても明るくて犯罪防止対策に有効に取り組んでおられるし、舟橋駅周辺やオレンジ公園に設置された防犯カメラは犯罪防止に効果的だと舟橋村の取り組みのよさについて話されたときは、なるほど人はよく見ているものだと思われました。

最近の犯罪は悪質・巧妙化しており、県内では2月中に数件の発生を見ている、漁業者の方たちが漁に出ている間に、駐車場にとめてあった自動車の窓ガラスを割って、車内に置いてあった現金などを盗み取る事件は非常に悪質であり、駐車場に防犯カメラが設置されていれば、未然に防げたのではないかと思われるという話をお聞きしました。

また、先日、舟橋村内での犯罪の発生状況について、上市警察署で把握されている数字をお聞きしましたところ、10月末現在のものですが、舟橋村駐在所管内では4件となっており、前年度同期の8件より4件減っていることをお聞きしました。

上市警察署管内の犯罪の傾向として、自転車、車上狙いが多く、その70%以上が無施錠被害、一般住宅等への侵入泥棒が増加しつつあり、スーパーセンターシマヤ等の開店で万引き、車上狙い等の発生が心配されると話されております。

村内では、昨年、オレンジパーク公園へ防犯カメラの設置、保育所駐車場への防犯灯の増設や防犯組合舟橋支部の活動として犯罪防止広報用チラシの作成と全戸配布を進められ、これらの取り組みが犯罪件数の減少に役立っていると思われませんが、犯罪はゼロではありませんので、いま一度施設設備の検証をされ、学校や保育所、舟橋会館等の駐車場や上下水道施設などを中心に防犯カメラの増設を進められ、犯罪を未然に防ぐことや犯罪の早期解決に向けた取り組みの充実を図り、安全・安心の村づくりを進められてはどうかと思いますが、村長のお考えをお聞きします。

次に、2点目として、婚活支援に対する村としての取り組みについてお考えをお聞きします。

平成22年3月定例会において野村議員の婚活支援に関する質問があつてから4年間が経過していますが、村内の適齢期を迎えておられる方々の状況はどのように変化していますか。

近隣の市町では、少子化時代の根本にある結婚の晩婚化や、総称して呼ばれている「草食系男子」に対応するため、市町村社会福祉協議会やJA福祉センターを中心に男女の出会いの場のセッティング、交換会の運営、指導にと力を注がれております。

別紙としてお手元に配布しました資料は、2月1日に隣町で実施されたパーティーの案内、実施要領、男子を対象にした研修会の資料です。パーティー参加希望の男子に事前研修として、今、何をどのようにして対処していかなければならないかをアドバイスする取り組みの一つです。

この企画に参加された内訳は、男性33名、女性49名が集まり、プロフィールの作成、ゲーム、自己紹介等を通して自分に合ったパートナー探しを行い、当日のマッチング成功は9組、それ以降に進展のあった人は男性2人、女性1人となり、研修会の講師の話によりますと、通常のパーティーの約3倍の確率となったと講評されております。

また、昨年、テレビ番組で南砺市の婚活イベントが放送されていましたが、その後の状況についてお話をお聞きしてきました。番組内でのカップルの成立は十数組でしたが、現在交際が継続しているカップルは4組であり、見事結婚にゴールインしたカップルは1組ということでした。

舟橋村では農家の後継者不足が大きな課題となってきていますが、数少ない後継者の方々が未婚の状況にあり、今後の活躍を支えるためには、よきパートナーを得られるよう支援していくことが大事かと思われます。

良縁の発掘は大変なことですが、何とか舟橋村の適齢期を迎えておられる若い男女に出会いの機会等を提供するためにも、行政からの支援が重要になってきていると思われますが、村長のお考えをお伺いいたします。

以上、2点についてお考えをお聞きします。

議長（前原英石君） 総務課長 松本良樹君。

総務課長（松本良樹君） おはようございます。

4番明和議員さんのご質問にお答えします。

私のほうからは、防犯施設の充実についてのご質問にお答えをいたします。

初めに、防犯カメラの設置の経緯とその効果についてご説明をいたします。

設置の経緯といたしましては、舟橋駅の地下道を通行する際に、暗くて危ないという意見があったこと、また駅前駐輪場での自転車盗の被害が近隣駅の施設と比較して多かったことから、平成24年6月に舟橋駅の地下道や駐輪場に合わせて12台の防犯カメラを設置したところでございます。その結果、平成23年には5件の自転車盗が発生していましたが、防犯カメラの設置からは約2年半になりますが、平成25年6月20日に発生した1件のみとなっております。

また、平成25年3月には、京坪川河川公園と県道立山舟橋線京坪橋付近へも防犯カメラを設置しております。この結果、公園においては、若者のたむろや深夜の花火等の迷惑行為が減少しており、通学路付近では声かけ事案等も報告されておられません。

これらのことから、防犯カメラの設置は犯罪の抑止に一定の効果があると考えております。また、録画映像については、2週間程度は高画質で保存されるため、犯罪解決の際に効果的に活用されるものと考えております。

なお、設置費用は、駅周辺が約95万円で、月々の警備委託料が8万4,000円、公園等のほうは、設置に約160万、月々のカメラのリース料が約4万円であります。

富山県では、今年度から防犯カメラを設置する自治会や市町村に対して補助制度を設けております。しかし、その補助要件は、2年間で5件以上の凶悪犯罪や街頭犯罪が発生している犯罪多発地域とされており、本村には該当箇所がないものと考えております。

犯罪抑止の観点からは効果的ではありますが、費用面を考えると、どこにでも取りつけるといふわけにはいきません。

しかしながら、住民の安全・安心を守ることは行政の重要な役割でありますので、今後は、公共施設を中心に、夜間昼間を問わず死角になる箇所、犯罪の温床となり得る箇所等を再度点検いたしまして、上市警察署をはじめ関係機関と協議しながら必要な箇所への設置について検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上であります。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 私のほうからは、婚活支援のご質問につきましてお答えしたいと思います。

婚活支援に関しましては、平成22年3月定例会におきまして、野村議員さんのご質問に、結婚相談等の婚活支援は、過去に舟橋村社会福祉協議会が窓口となりまして行っ

ていたわけでありますが、その間、相談実績がないということもありまして、やめたということ等を話をしたわけでありますが、そしてまた、今後その実態を究明いたしまして、社会福祉協議会と十分調査しながら検討してまいりたいというような答弁をさせていただいております。

その後、平成22年に実施されました国勢調査のデータに基づきまして県内市町村の平均婚姻率というものが出ておりまして、その率と比較してみますと、本村の場合でございますが、世代別に申し上げますと、20代の男性では29%、女性は38%、30代の男性は75%、女性は85%、40代の男性は82%、女性は91%、50代の男性は89%、女性は89%と、全ての世代におきまして、県の平均を大きく上回っているのが実情であります。そしてまた、極端に低いという世代もないのが実情であります。

しかし、本村の人口構成におきましては、ゼロ歳から19歳までの割合は26%、30代から40代の割合は33%と非常に高いのに対し、これから子育て世代となります20代世代では、転入者より転出者が多いわけでありまして、構成割合が9.2%と極端に低いということございまして、将来的な少子化が懸念されているわけであります。

国では、少子化対策の強化事業といたしまして、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行うということで、地域の少子化対策の強化を図るということにしております。

しかし、この事業が目指しているのは、結婚支援は単に結婚希望者の出会いの場を提供することでなく、あくまでも婚姻前から出産・育児に関する知識や体験を付与するための事業であるということでありまして、つまり、議員さんがおっしゃった婚活支援というのは、この国の考え方で行きますと、従来型の手法による少子化対策であるというふうに理解されるわけでありまして。

現在本村が当面する主要な対策は、20代の人口流失防止と子育て世代の人口流入であると考えております。

しかし、婚活支援の対象となる方は、少なからずともおいでになることも事実であります。4月には富山県経営者協会によりまして、お花見ナイトパーティーが開催される等、先ほど議員さんがおっしゃったように、それぞれのところで婚活イベントが計画され、実施されておるわけでありまして。

本村といたしましても、そういった方々に、行政が何ができるのか、そしてまた、本

日は傍聴席に社会福祉協議会の会長さんもおいでになるわけでありまして、十分舟橋村の実態に沿った取り組みはどうかということを検討し、あるいはまた研究してまいりたいと、このように考えておりますので、議員さんのご提言は、まさしくその意義があるものと私は思っています。

今後とも若い世代が住みやすい、そして子育てしやすいまちづくりの環境整備に取り組んでまいるということを申し上げまして、私からの答弁にかえさせていただきます。

議長（前原英石君） 明和善一郎君。

4番（明和善一郎君） 今ほど、ありがとうございました。

1点目に申し上げました防犯カメラの話でございますが、昨年、保育所の駐車場で車上狙いがあったという話も聞いております。そういったものをゼロにするためには、やはり防犯カメラが必要でないかなということを思います。

県の状況は県の状況でいいがです。村として今何ができるかということを考えながら進めてもらいたいということをお願いします。

それと、今、婚活のほうですが、村で、なら婚活の仲間入り、昔のお仲人ですね。そういった方を設けるかという話ではないがで、やはり村として支援できるのは財政面だと思います。社会福祉協議会に「頑張ってくれよ」と言うても、やはり財政面が伴わないとなかなか活動もしにくいかと思っておりますので、何らかの支援策を講じていただければ、合体して進められる話でないかなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でございます。

議長（前原英石君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 私からお答えしたいと思ひます。

今、明和議員さんのほうから2点あったと思ひます。要望とも受けとめられるわけありますが、防犯カメラの設置の話、保育所の関係であります。いずれにいたしましても、この防犯カメラの設置箇所は、いろいろな施設にももちろんつけることにこしたことはありませぬし、また私はそのように積極的に取り組むべきであろうと思ひます。

それから、また、行政だけでなしに民間の、例えばこう言ったら失礼ですけれども、湯めぐこちとかああいう大きな駐車場等を所有した企業とか、そういうのを、民間の方でございますけれども、そういった方々にも協力をお願いすべきでないかと。

そういった点で、行政としても何らかの支援ができるかどうかということも含めて検

討してまいりたいと。それは防犯カメラの件であります。

そしてまた、婚活の話でございますけれども、ご案内のとおり、社会福祉協議会のほうへは、ことしの26年の予算につきましても、かなりのお金をお願いして、そしていろんな福祉事業を推進していただいておりますので、そういった中身も、今おっしゃったことも含めて十分検討してまいりたいとこういうふうにも考えておりますので、ご理解賜りたいと思います。

以上であります。